

令和7年度第1回総合教育会議

日 時：令和7年7月25日(金)16時00分～

場 所：忠類ナウマン象記念館研修室

1 開会挨拶

2 協議事項

(1) 忠類ナウマン象を活用した地域づくりの現状と課題

3 その他

4 閉 会

【配布資料】

資料1 忠類ナウマン象を活用した地域づくりの現状と課題

忠類ナウマン象を活用した 地域づくりの現状と課題

忠類ナウマン象記念館
館長 添田雄二



忠類ナウマン象化石発見以降の沿革

- 1969年：臼歯化石を発見。キバや頭骨片、左の手足の骨なども発掘。
- 1970年：右の手足の骨や左右の腰骨などを発掘（1頭分は日本で2例目）
※1970年代の研究→「年齢は若い」、「沼に足を取られて死亡」
- 1988年：忠類ナウマン象記念館オープン
- 2006年：幕別町と忠類村が合併
- 2008年：北海道初の足跡化石を発見（調査は2007年着手）
※新たな研究成果「忠類ナウマン象は老齢」、「1970年発見の臼歯はナウマンゾウではなくマンモス」と発表（高橋啓一氏ら）
- 2010年：「死後に洪水で移動」と発表（高橋啓一氏ら）
- 2019年：発見50周年を機に足跡化石の発掘を開始
- 2021年：学芸員採用
- 2024年：初の展示リニューアル。郷土展示も新設。
（前年度来館者11,521人→2024年度14,270人）
忠類ナウマン象化石の頭骨片を発見
- 2025年：第2回全国ナウマンゾウサミットの開催





博物館が地域づくりを担う意義

ー地域に必要とされる博物館へー

●これまでの博物館における基本的業務

- (1) 調査・研究
- (2) 収集・保存
- (3) 展示・普及

●地方自治体における近年の博物館、学芸員の役割

「地域活性化への貢献が求められる時期に来ている」

「地域資源の魅力を住民との協働で創出するためのマネジメント能力」

・ ・ ・ 薄井（2011年、日本生涯教育学会年報）から抜粋

●2022（令和4）年度の博物館法の改正

「他の博物館との連携、地域の多様な主体との連携・協力による文化観光など
地域活力の向上への寄与」が努力義務化



忠類ナウマン象を活用した近年の地域づくり事例 (1)

発掘調査の活用：道の駅忠類との連携

ナウマン饅頭 特価販売



6個入り1200円！
通常価格より
150円もお得！

発掘記念包装！
裏面に化石の
ミニ解説付き

小袋

10/22～27
道の駅忠類限定

只今、足跡化石の発掘調査中！
10/22 (火)～27 (日)

発掘調査と忠類銘菓のコラボ！



道の駅忠類から
の道のり動画

化石の発掘は忠類ナウマン象発掘跡地で行っています。道の駅から車で約20分。見学可。

忠類ナウマン象発掘の地

検索

発掘場所の地図はこれを入力して検索！

調査期間中に同封の小袋を現場に持参いただくと、ナウマンゾウが埋まっていた約12万年前の地層の小石をプレゼントします！（26日の午前は除く）。



忠類ナウマン象を活用した近年の地域づくり事例（2） 発掘調査の活用：道の駅忠類、ホテルアルコとの連携



期間：令和6年12月22日～令和7年1月13日

- 1 ナウマン象記念館のチケット半券持参で
ホットコーヒー1杯無料！
- 2 「ナウマンゾウサイダー」（数量限定）
または「ナウマン饅頭」を購入された方
合計金額から10%OFF



店内商品全部割引！！
たくさん買ってね

【お問合せ先】

道の駅・忠類 TEL01558-8-3236

〒089-1701 中川郡幕別町忠類白銀町384番地12



新春福袋

54年ぶり化石発掘を記念して

54個限定販売

2025年
1月1日11:00～

ホテルアルコ
ナウマン象化石発掘
記念企画

1月11・12・13日

レストラン利用者
ドリンクバー無料

入浴半額
大人300円・小学生150円
1月11日11:00～

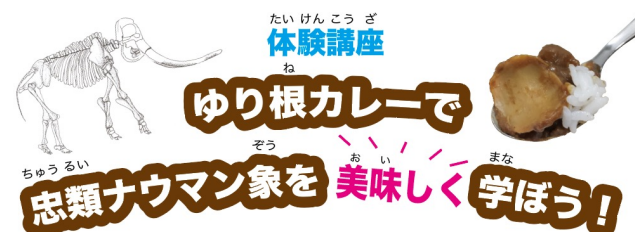
01558-8-3111
幕別町忠類白銀町384番地1

HOTEL arco



忠類ナウマン象を活用した近年の地域づくり事例（3） 忠類2大特産のコラボ

「沼に足を取られて死んだ」という説が定説化していたが、2000年代に入り堆積環境分析や骨および材化石の位置関係の分析などから、**死後に洪水の影響で流され土砂とともに埋没したことが判明→ゆり根とコラボした体験講座へ活用**



幕別町忠類は「ゆり根」と「ナウマンソウ」が特産です。この2つを美味しく学びましょう！
忠類ナウマン象は、最新の研究によって死後に洪水に流されたことが判明しました。
そこで、ゆり根カレー（レトルト）とバックご飯でその様子を再現（ダムカレーのような盛り付け）、美味しく食べながら学びます。また、ゆり根の展示コーナーでは、栽培の特徴や美味しさの秘訣を解説します。

2025年
3/30 日
11:00～12:00

忠類ナウマン象記念館
（幕別町忠類白銀町）



内容
11:00～11:10 ナウマンソウのお話し
11:10～11:20 ゆり根のお話し
11:20～11:30 盛り付けに挑戦！
食事

定員：**10**名、先着順、要事前申込
電話：01558-8-2826 ※火曜休館

料金：**無料** ※講座参加者は展示室も無料でご覧いただけます。
対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴
持ち物：カレースプーン、ハサミ、割り箸、
ビニール袋2枚（スーパーの袋で可）、
布巾（ミニタオル）、
飲み物（自販機有り）



道の駅忠類販売の「純白ゆり根カレー」を使用。かきゆりを忠類ナウマン象に、カレールーを洪水に見立てた講座（ダムカレー）。JA忠類青年部によるゆり根展示コーナーの解説とセット。





忠類ナウマン象を活用した近年の地域づくり事例（4）

地域の魅力発信と効果的なPR

新設した郷土展示コーナーの一環でシーニックカフェちゅうるいを紹介

→日高山脈襟裳十勝国立公園関連事業（北海道中札内高等養護学校によるダンボール製の日高山脈動物パネル展）と連携することで効果的に忠類の魅力をPR。



シーニックカフェ
ちゅうるい

営業：7～9月の土日祝 ※雨天休業
時 間：午前10時～午後3時
メニュー：コーヒー、ジュースの無料サービス
場 所：道の駅忠類から車で3分
ナウマン象記念館後方の丘の上
QRコード
→道の駅忠類からの道のり動画
（公式 Facebook）
駐車場：あり、普通車約10台分のスペース
トイレ：あり
その他：軽音楽コンサートを期間中に数回開催。
詳細は Facebook でご確認ください。
連絡先：01558-8-2141（南別町商工会忠類支部）



北海道中札内高等養護学校は、当館での展示にあたり新たに実物大のナウマンゾウも作製（9/28まで展示）。
※開催にあたっては、北海道十勝総合振興局とも連携

新設パネルの一部



忠類ナウマン象を活用した近年の地域づくり事例（5）

地域住民による写真展の開催（関係人口を増やす）

忠類ナウマン象が生きていた頃の十勝は現在とあまり変わらない気候であったことから、「太古の時代から続く十勝の自然」と題し、幕別在住または縁のあるアマチュア写真家の作品展を開催（令和5年度から継続）。

太古の時代から続く十勝の自然

齋藤奈美 さん 写真展

忠類ナウマン象記念館 企画展 2023



令和5年 7月19日(水)～9月18日(祝・月)

忠類ナウマン象記念館 (01558-8-2826)

午前9時～午後5時、火曜休館※7月25日、8月1、8、15日は開館
ナウマン象記念館の入館料が必要（駐車場は無料）



主催：幕別町教育委員会、協力：幕別町地域振興課

忠類ナウマン象が生きていた頃の十勝は、現在とあまり変わらない気候であったことから、「太古の時代から続く十勝の自然」と題し、幕別在住または縁のあるアマチュア写真家の作品展を開催（令和5年度から継続）。

太古の時代から続く十勝の自然

長尾彩加 さん 写真展

忠類ナウマン象記念館 企画展

令和6年

令和7年

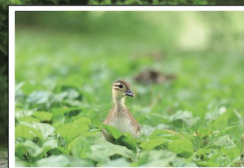
12月4日(水)～2月24日(月・祝)

忠類ナウマン象記念館 (01558-8-2826)、午前9時～午後5時

毎週火曜と12/29～1/3、2/12は休館。ただし2/11(火・祝)は開館。

ナウマン象記念館の入館料が必要

※道の駅忠類でお買い物をすると当館の入館割引優待券がもらえます。詳しくは両店のレジでご確認ください。



当館の最新情報は
公式エックスで！

忠類ナウマン象が生きていた頃の十勝は、植物化石の分析によって現在とあまり変わらない環境であったことがわかっています。そこで、幕別在住または縁のある写真家が写した十勝の自然の姿を通して、ナウマン象が生きていた時代に思いを馳せる機会としたいと思います（2023年からの連続企画）。今回はアマチュア写真家である長尾彩加さん（フォトクラブまぐべつ所属）の作品31点を展示します。



忠類ナウマン象を活用した近年の地域づくり事例（6）

教育現場との連携：忠類小学校との「かぼちゃプロジェクト」

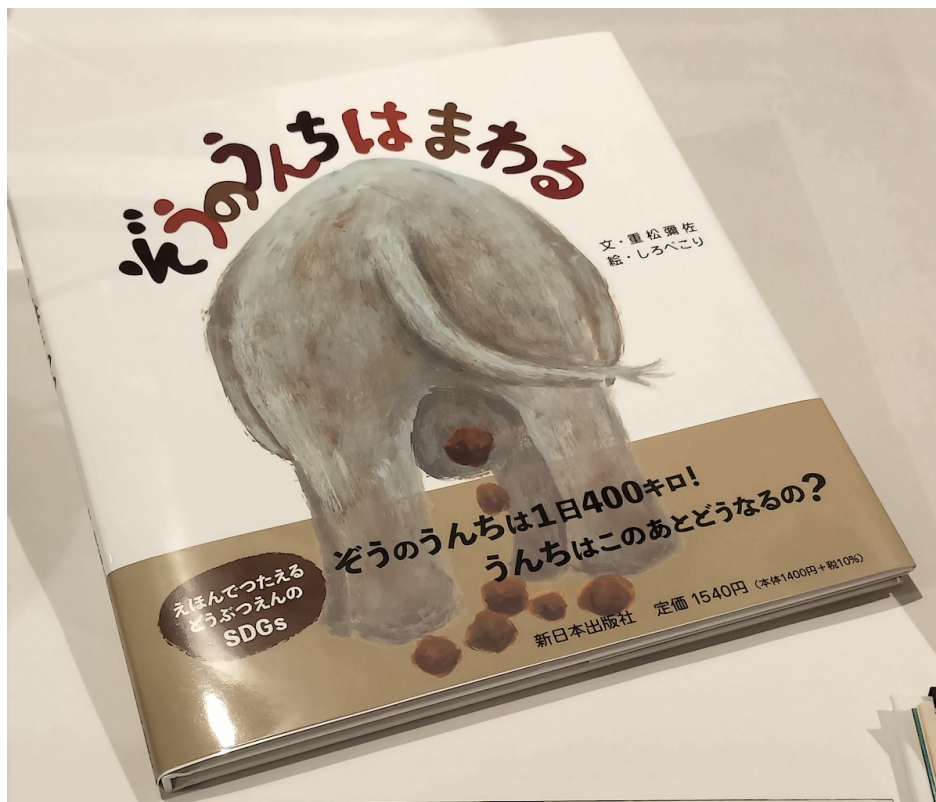
- 札幌市円山動物園のゾウ糞製堆肥を使って忠類小の農園でかぼちゃを栽培
- 秋に収穫しゾウにプレゼント→忠類小と動物園をオンラインで繋ぐ特別授業
- 2019年の発見50周年を機に企画がスタートし、**今年度からJA忠類も協力**





かぼちゃプロジェクトの「効果」

(1) 絵本に登場



絵本「ぞうのうんちはまわる」

(出版：新日本出版社、2024年6月、重松彌佐/文、しろべこり/絵)

札幌市円山動物園のゾウのうんちが堆肥にかわる SDGs のお話で本町の「かぼちゃプロジェクト」も登場します！札幌在住の作家、重松さんは、オンラインで忠類小の全児童に読み聞かせもしてくれました。北海道学校図書館協会の選定図書にもなりました(2024年度の冬休みにおすすめするほん：小学校・低学年部門)。

(2) めいぐるみ作製



製造：株式会社 AQUA (横浜)

監修：添田雄二 (忠類ナウマン象記念館)・澤村 寛 (足寄動物化石博物館)

協力：ちゅうるい学園 (縫いぐるみ：忠類小学校、下げ札：忠類中学校)

600個作製→来月には完売予定となり道の駅忠類が追加発注。

※ふるさと納税返礼品にも追加



忠類ナウマン象を活用した近年の地域づくり事例（7）

教育現場との連携：忠類中学校による「総合的な学習の時間」での活用

(1) 当館での座学、発掘体験と小石採集、モザイクアートパネルづくり、の3部構成

只今、「ナウマンゾウの子ども」パネルを作製中！

忠類中学校の生徒が「忠類ナウマン象」化石が埋まっていた地層から採取した小石を使って、2022年から毎年少しずつ作製しています。子ゾウは2才の設定で、実物大です。



(2) ゆり根展示コーナーでの校外授業
講師：JA忠類青年部





忠類ナウマン象を活用した近年の地域づくり事例（8）

教育現場との連携：帯広畜産大学とのヒグマ標本づくり

- 当館では長野県産ヒグマ骨化石を展示（腰骨の一部。複製）
 - ナウマンゾウの時代から北海道にも棲息していたが化石は発見されていない
 - 化石が発見された時の比較検討用として、現生ヒグマの骨が必要
 - 役場で駆除した個体を帯広畜産大学と協働で標本化（社会教育へ活用）
- 初の博物館実習生受け入れや1頭分のアジアゾウの骨標本管理へつながる





ナウマンゾウサミットへの取組

みんなでつながるゾウ！

第2回 全国ナウマンゾウサミット in 幕別

－開催要項（案）－

開催日

2025（令和7）年10月18日（土）13:30～16:00

主旨、目的

ゾウ化石で地域づくりを行っている自治体が交流し、人材育成や地域の更なる魅力向上を目指す。サミットの構成自治体は、国内でナウマンゾウ化石が発見されている幕別町、東京都中央区、長野県信濃町、滋賀県多賀町の4自治体。

今大会の参加自治体

- （1）主要4自治体 幕別町、東京都中央区、長野県信濃町、滋賀県多賀町
- （2）北海道大会ゲスト 北広島市

会場、定員、参加費

忠類ナウマン象記念館、定員70名、参加無料。※オンラインも配信



ナウマンゾウサミットへの取組

内容

幕別大会テーマ「地域づくりの新しい未来ゾウを探る」

※テーマの意味 各地域では普段からゾウ化石で地域づくりを行なっているが、それを共有しお互いがつながることでさらなる新しい未来ゾウに発展させる。

13:30 開会、飯田幕別町長挨拶

13:35 各首長様ご発表（5分/人×4人）

13:55 北海道大会ゲスト、北広島市の事例報告 畠誠学芸員（15分）

14:10 各自治体の地域づくり事例報告（15分/人×4人）

幕別町 忠類小学校 島田 諭校長

東京都中央区 浜町商店街連合会 稲崎知伸会長（兼日本橋浜町エリアマネジメント理事）

信濃町 信濃町教育委員会 北村康彦教育長

多賀町 シガタガゾウのサト祭り実行委員会 中川信子委員長

15:10 **休憩**

15:15 忠類ナウマン象の LINE スタンプお披露目（原画を描いた北海道幕別清陵高校生の表彰式を予定）

15:20 各首長様を中心とした自由討論（40分）

座長 滋賀県立琵琶湖博物館 高橋啓一 名誉館長

16:00 閉会、鈴木信濃町長挨拶

→記念撮影後に希望者へ展示解説。18時からホテルアルコで懇親会

※当日は、午前11時から参加自治体関係者による発掘現場の視察を実施する。



ナウマンゾウサミットへの取組

関連行事

(1) 忠類ナウマン象発見地での発掘体験

10/11（土）から13日（祝）にサミット開催に向けてのプレイベントとして実施
午前と午後に各1回、1時間、10名。足跡化石の発掘体験や昆虫化石探しを実施

(2) ナウマンゾウカフェと特産品販売

10/18, 19に、ナウマン象記念館エントランスと野外テラスにカフェを設置（アンビックス協賛。美鈴珈琲からコーヒーマシンを借用）。1杯200円

また、道の駅忠類内にサミット参加自治体の特産品販売コーナーを設置

(3) 実物大ナウマンゾウ頭部模型を展示

北広島市教委と市民作の模型をナウマン象記念館エントランスに展示。



(4) 関連講座

10/19（日）14～16時、足寄動物化石博物館出前講座「化石掘り出し体験」
参加料200円

(5) 関連写真展

10/1（水）～11/3（祝）十勝の自然史研究会による「十勝のジオサイト」写真展



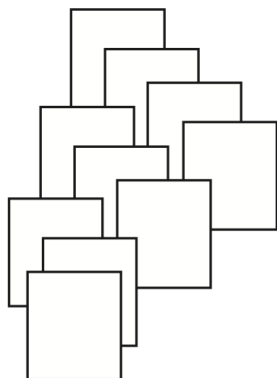
ナウマンゾウサミットへの取組

地域づくり事業の発展

●人材育成事業

①幕別清陵高校との忠類ナウマン象LINEスタンプ作り

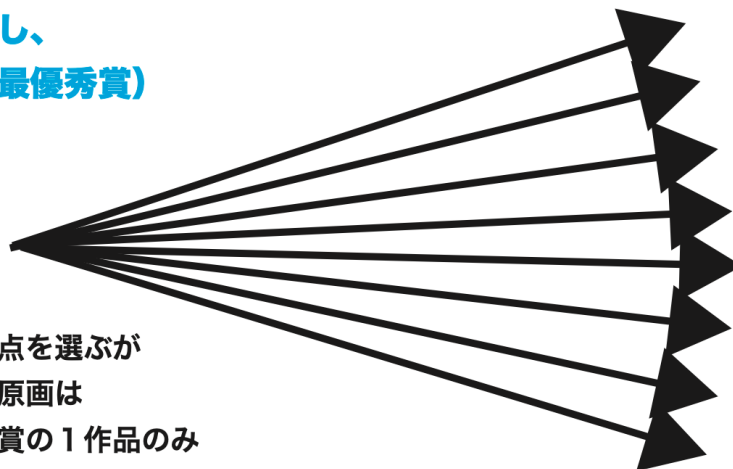
複数の生徒作品（原画）



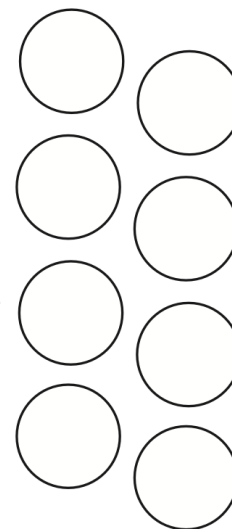
ラインにする原画を
1点のみ選択し、
それを大賞（最優秀賞）
とする



※他に優秀賞2点を選ぶが
スタンプにする原画は
あくまで最優秀賞の1作品のみ



1点の原画から「おはよう」や「おやすみ」など
セリフに合わせた8パターンのスタンプ作製





ナウマンゾウサミットへの取組

地域づくり事業の発展

●人材育成事業

- ②忠類小学校児童によるナウマン太鼓復活
10/19忠類どんとこいむら祭りのステージで
演奏
※どんとこいむら祭りでの演奏は令和2年
以降行われていない
- ③忠類小・中学校（＋町内小学校3～4年生）に
よる紙コップナウマンゾウアートを検討中



日時 毎週水曜の 18:30 から約1時間。来れる日だけでも OK です！

※第1回目は7/23（水）

場所 白銀台スキー場ロッジ

対象 忠類小1年生から忠類中3年生まで
※保護者による送迎をお願いします

講師 忠類ナウマン太鼓保存会

申込 7/11（金）までにこの紙に名前を書いて
担任の先生にわたしてください。

忠類 小・中	← まるでかこんでね	年生
ふりがな 名 前		
保護者氏名と 携帯等の連絡先		

10/19(日)の
どんとこいむら祭りで
たたくことを目標に
するよ！





今後の課題

- 発掘調査の継続による収蔵化石資料の充実

- ※まだ地層中にあると推定される忠類ナウマン象化石骨（頭骨片、椎骨、肋骨など）の発見



- ナウマン象記念館からナウマンゾウミュージアムへ

- ※観光PRにも繋げる

- 人材育成を念頭に置いた事業の継続

- 2029（令和11）年の化石発見60周年を見据えた事業展開

- (1) 札幌市円山動物園およびJA忠類との連携による「ナウマンかぼちゃ」の商品化
 - (2) 大都市と地域をつなぐ事業の企画